

Q. この5年間で、もっとも印象的な出来事は？ n = 245

- 1位** 46人 (うち1型 36人、2型 9人、その他 1人)
フラッシュグルコースモニタリング発売*1 2017年
- 2位** 37人 (うち1型 4人、2型 30人、その他 3人)
「食べる順番」で食後高血糖が改善*2 2015年
- 3位** 28人 (うち1型 16人、2型 11人、その他 1人)
世界初「人工膵臓」が成功*5 2014年
- 4位** 21人 「SGLT2阻害薬」6製品が相次いで発売 2014年
- 5位** 18人 パーソナルCGM搭載インスリンポンプ、SAP登場*3 2015年

*5 第74回米国糖尿病学会

患者さんへのアンケートでも「フラッシュグルコースモニタリングシステム発売」が1位に。1型糖尿病患者さんの3人に1人がこのニュースを選びました。

2位は「食べる順番」に関するニュースで、こちらは2型糖尿病患者さんにもっとも多く

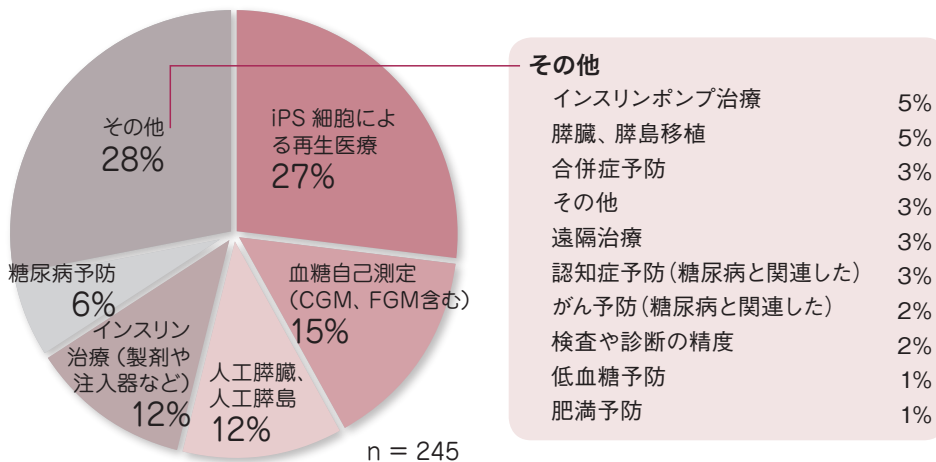
注目されました。食事療法を厳密に行うことはなかなか大変です。しかし、「米飯より魚・肉を先に食べること」はどの患者さんでも心がけることができるものなので、多くの患者さんの心に響いたのではないのでしょうか。また「自己管理が行いやすくなる」と

いう理由で選ぶ人が多くいました。

患者さんはやはり、糖尿病の完治を願っていると思われます。3位の「人工膵臓」は、その実現を感じられる明るいニュースとして、1型・2型問わず多くの患者さん選ばれました。医療スタッフでは「人工膵臓」はランキング外でしたから、患者さんの方が医療スタッフよりも、糖尿病治療の進歩を期待する思いが強いといえるかもしれません。さらに今後5年間で進化する分野についての質問でも、未来の糖尿病についての質問でも、糖尿病の完治につながる「iPS細胞による再生医療」「人工膵臓、人工膵島」を挙げる患者さんが非常に多く、糖尿病の完治への願いが強く現れていました。

一方で「血糖自己測定(CGM、FGM含む)」「インスリン治療(製剤や注入器など)」の進化を期待する声も多く、血糖コントロールへの関心が高いことがうかがえます。

Q. 今から5年後にもっとも進化する分野は？



Q. 未来の糖尿病治療に期待することは？

- 糖尿病が完治すること
- 1型糖尿病患者がインスリン注射から解放されること
- インスリンの経口剤化や貼薬。持ち物が減るとうれしい
- 自分で単位数を考えなくてもいい自動インスリン
- iPS細胞などの再生医療や、人工膵臓の実用化
- 道具・薬に頼る対処療法からの脱却を願う
- 血糖値がすぐに簡単に苦痛なく測れる機器
- 1型糖尿病医療費の無償化

この5年間を見ても、糖尿病医療は大きく進歩しました。患者さんの興味はさまざまですが、その根底には完治への願いがあると考えられます。完治の時代を迎えるまで、医療スタッフはそのような患者さんの気持ちに寄り添い、糖尿病医療を実践していくことが望まれているのではないのでしょうか。